

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市市長田西2丁目マンション	階数	地上10F
建設地	大阪府東大阪市市長田西	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	297 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年8月22日
敷地面積	2,996 m <sup>2</sup>	作成者	脇 義行
建築面積	863 m <sup>2</sup>	確認日	2022年8月22日
延床面積	5,953 m <sup>2</sup>	確認者	脇 義行



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 86%

③上記+②以外の 86%

④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

音環境	3.3
温熱環境	3.9
光・視環境	3.4
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

機能性	2.6
耐用性	3.2
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.6

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.5
地域環境	2.0
周辺環境	3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
緑のオープンスペースをもつ暮らしをコンセプトに、安心して住み続けたい場所の提案をしている。都市部の中にいながら植物を通してリラクゼーション感を与え、気分に合わせて居心地を選べるテレワーク室など多機能な利用も出来るスペースを有している。SDGs等緑の環境づくりにも配慮し、子育てにも好ましい場所の提供をしている。また、緑のあるランドスケープは街並みに彩を提供し街の資産となる景観を形成させている。	とくになし
<b>Q1 室内環境</b> 設備等は標準的ではあるが、自然光、自然風が取り入れる事ができ、通り抜ける様に工夫をしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 四季折々の樹木を植え、リラクゼーションできるような配慮している。また植樹のレイアウトにも配慮し、防犯にも務めている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱等級3以上を有している	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車駐輪は住戸に対して十分な台数を置けるように配慮した。
<b>Q2 サービス性能</b> テレワーク室等設け、インターネットで仕事もしやすい環境づくりをし、各住戸内でも、快適にインターネットを使用できるよう、今現在出来る配線、配管にも配慮している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水などの機能を持った水栓や設備を備えている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-変-0001

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)東大阪市長田西2丁目マンション計画					
	建設地	大阪府東大阪市長田西					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		